

2018年7月30日

ソフトバンク コマース&サービス株式会社  
株式会社 MCJ  
株式会社ホロラボ

## ソフトバンク コマース&サービス、MCJ、 ホロラボが AR/VR/MR 分野で業務提携

ソフトバンク コマース&サービス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：溝口 泰雄、以下「ソフトバンク C&S」）と株式会社 MCJ（本社：埼玉県春日部市、代表取締役会長：高島 勇二、以下「MCJ」）、株式会社ホロラボ（本社：東京都品川区、代表取締役 CEO：中村 薫、以下「ホロラボ」）は、このたび AR（拡張現実）/VR（仮想現実）/MR（複合現実）の各分野における業務提携に合意しましたのでお知らせします。

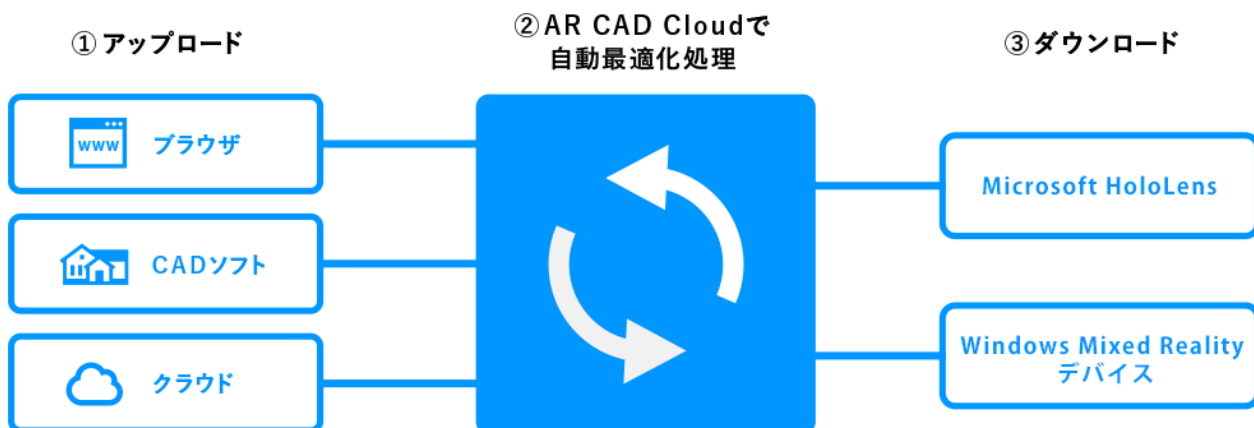
設計・製造・建設現場での 3D データの活用が広がる中、ソフトバンク C&S とホロラボは 3D CAD（Computer Aided Design）/BIM（Building Information Modeling）データを、マイクロソフトが提供する「Microsoft HoloLens」や「Windows Mixed Reality デバイス」（以下「MR デバイス」）などで活用できるように、クラウド経由で自動変換するソリューション「AR CAD Cloud」の共同開発を進めてきました。両社は今回の提携により、主に土木・製造・建設業界に向けた販売体制を整え、デバイスやソリューション、周辺サービスの導入提案を促進するとともに、導入に当たって技術的なサポートやアドバイスをを行います。

ソフトバンク C&S と MCJ は、それぞれホロラボと資本提携することにより、ホロラボのソリューション開発を資金面で支援します。

また、MCJ とホロラボは、それぞれハードウェアと AR/VR/MR 分野におけるノウハウを、今後の両社の事業展開に相互利用していきます。そのほか、MCJ は、ホロラボにハイスペックなパソコンなどの製品提供を行い、ホロラボの開発環境の向上を支援します。

### ■ 「AR CAD Cloud」について

「AR CAD Cloud」は、マイクロソフトが提供する「Microsoft Azure」をベースにしたクラウドソリューションで、3D CAD/BIM データを MR デバイスなどに向けて自動変換し、これまで 2D の図面で行っていた確認作業を原寸大の 3D モデルで行えます。そのため、作業工数の削減や、より具体的な説明などが可能になります。



- 「AR CAD Cloud」に、3D CAD データや BIM データをアップロードすると、MR デバイスなどに向けてデータを自動変換します。
- 「AR CAD Cloud」がデータを自動変換するので、AR/VR/MR 開発ツールのスキルを習得することなく AR/VR/MR を活用できます。
- オートデスク株式会社の CAD/BIM ソフトウェアで活用できる各種データ形式、中間ファイル形式などの主要なファイル形式に対応します。(一部対象外あり)
- クラウドストレージを活用することで、遠隔ロケーションでも最小限の機材でいつでも AR/VR/MR ビューイングが可能です。

#### ■ソリューションの詳細

「AR CAD Cloud」の詳細は、ソフトバンク C&S のウェブサイト ([https://biz.cas.softbank.jp/industry/construction/ar\\_cad\\_cloud/](https://biz.cas.softbank.jp/industry/construction/ar_cad_cloud/)) をご覧ください。

#### ■「AR CAD Cloud」体験イベント

2018年8月31日(金)に開催される「Autodesk University Japan 2018」で、「AR CAD Cloud」を体験していただくことができます。

「Autodesk University Japan 2018」の詳細は、こちら (<https://autodeskuniversity.eventcloudmix.com/>) をご覧ください。

#### ■エンドースメント

今回の業務提携に当たり、日本マイクロソフト株式会社、オートデスク株式会社、ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン合同会社より、下記のコメントを頂戴しています。(順不同)

日本マイクロソフト株式会社

業務執行役員 Microsoft 365 ビジネス本部 本部長 三上 智子さま

日本マイクロソフトは、ソフトバンク コマース&サービス株式会社、株式会社MCJ、株式会社ホロラボの業務提携を大変うれしく思います。「Microsoft Azure」と「Microsoft HoloLens」を活用した「AR CAD Cloud」を通じて、3D CAD データやBIMデータが利用されている現場でMixed Realityの活用が広がり、デジタルトランスフォーメーションの推進につながるものと期待しています。

オートデスク株式会社

チャンネルセールス営業本部長 麦田 興次さま

土木・製造・建設分野の設計段階で作成される3D CAD/BIMデータは、企画検討から詳細設計、検証、関係者の合意、メンテナンス、広告宣伝まで幅広い業務で利用されています。今回提供される「AR CAD Cloud」により、Mixed Reality がより身近な技術になることが期待されています。そうすれば3D CAD/BIMデータを活用する場面も広がりますので、さまざまな業務の自動化が可能になるでしょう。

ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン合同会社

代表執行役会長 豊田 信夫さま

「AR CAD Cloud」の基幹技術にはUnityが採用されており、当社のソリューションが貢献できることをうれしく思います。設計製造や建設現場で3D CAD/BIMデータの活用やMixed Realityに対する需要が非常に高まっており、「AR CAD Cloud」はこうした需要を満たしてくれると感じています。今回発表された3社の業務提携に当社も大いに期待しています。

#### ■ソフトバンク コマース&サービス株式会社について

ソフトバンク コマース&サービス株式会社は、ソフトバンクの創業事業である個人および法人向け IT 関

連商品の流通事業をはじめ、グループの通信事業などとのシナジーを生かした、モバイルアクセサリー「SoftBank SELECTION」の製造販売、法人向けにモバイルや固定回線などの通信インフラと IT 商材を組み合わせた ICT ソリューションの提供、多様なモバイルデバイスで利用できる Web サービス、購買支援事業など、ICT 関連の商品やサービスを幅広く提供しています。詳細は、こちら (<https://cas.softbank.jp>) をご覧ください。

#### ■株式会社 MCJ について

株式会社 MCJ は、「mouse」をメインブランドとする BTO（受注生産）、完成品パソコンの企画・製造・販売および「iiyama」ブランドモニターの欧州販売、日本国内店舗における、IT デバイス関連サポート・サービスを展開するとともに、パソコン周辺機器の代理店販売や卸売り、アフターサービスなどのバリューチェーンを備え持つ総合 IT グループです。

今後の取り扱い製品の拡充とともに、その先にある顧客ニーズを捉えてマルチサービスを実現するために、VB 投資や事業提携、M&A などにも積極的に取り組んでいます。詳細は、こちら (<http://www.mcj.jp>) をご覧ください。

#### ■株式会社ホロラボについて

株式会社ホロラボは、2017年1月18日（Microsoft HoloLens 日本上陸の日）に設立された研究開発型の企業です。Windows Mixed Reality に代表される最新技術をいち早く使いこなし、より多くの人たちが体験できるよう、調査研究、システム・アプリケーション開発、啓蒙活動を行っています。2017年11月8日、Microsoft Mixed Reality パートナープログラム認定を取得しました。詳細は、こちら (<http://hololab.co.jp>) をご覧ください。

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名などは、各社の登録商標または商標です。